



1学期をふり返って

こうちょう なかむら まさと
校長 中村 真人

早いもので、1学期が終了しました。4月に入学式を行い、新たに2名の入学生を迎え、児童生徒28人で新年度がスタートしました。今年度のキャッチフレーズ「やってみよう ありがとう なんとかなる あなたらしく」を大切に、日々の教育活動に取り組んできました。

「やってみよう」1学期もさまざまな行事にチャレンジしましたが、特に印象深かったのは「みしまっこジャンベツアー2025 in 大阪」への参加です。ギニアナショナルデーでの演奏に向けて、昨年9月から練習を積み重ねてきました。三島村の4学園がそれぞれに準備を進め、前日のリハーサルではじめて合同演奏を実施。ギニアのプロ演奏家が見守る中、総勢51人による力強い演奏はまさに圧巻でした。当日は現地から届いた民族衣装に身を包み、堂々と演奏する子どもたちの姿に感動しました。この様子はギニアでも放映されたそうです。小さな村からの挑戦ではありましたが、多くの方の心に響く演奏だったと実感しています。

「ありがとう」1学期は、地域の皆様をはじめ、たくさんの方々に支えていただきました。地域エコノミストの藻谷浩介さん、タレントのサンシャイン池崎さんや照英さんなど、多様な分野の方々が来島くださり、子どもたちに貴重な体験と元気を届けてくださいました。ふれあいレクリエーションや水泳発表会では、地域の皆様にもご参加いただき、さまざまな場面でお世話になりました。2学期は八朔太鼓踊りや9月踊りなど、伝統行事も控えています。お世話になった分、子どもたちがその気持ちを行動で返せたら、と思っています。

「なんとかなる」思うようにいかない場面もありましたが、子どもたちは仲間と協力しながら一つひとつの壁を乗り越えてきました。ジャンベツアーに向けては、不安や緊張もありましたが、最終的にはステージを笑顔で終えることができました。困難に直面しても、前向きな気持ちと助け合う力があれば、きっと「なんとかなる」——そのことを実感した1学期となりました。

「あなたらしく」新入生の入学により、学校の空気も少しずつ変化していきます。それぞれが自分らしさを大切にしながら過ごしてくれていることに、私たちも嬉しさと成長を感じています。運動、音楽、話すことなど、自分の「好き」や「得意」を伸ばしながら、互いに認め合い、支え合う雰囲気や育まれました。

2学期も、一人ひとりが「あなたらしく」輝けるよう、私たちも全力で環境づくりに努めていきたいと思っています。

＜夏の祭典＞～心をつなぐ演奏の力～

後期課程の15名が夏の祭典に出場しました。この演奏は、1学期いっぱい転出する3名を含む、15名全員がそろって披露する最後の舞台でした。一人ひとりが心を結び合い、笑顔で楽しく演奏を届けた結果、見事に金賞の栄誉に輝きました。



＜水泳発表会＞

日頃の練習の成果を披露する場となりました。保護者や地域の皆様にもご参加いただき、一生懸命に泳ぐ姿や笑顔が溢れる楽しい発表会となりました。



＜1学期終業式＞

18日、1学期終業式が行われました。前期課程、後期課程それぞれの代表児童生徒が1学期の反省と夏休み・2学期に向けた抱負を発表してくれました。

みんなの笑顔がキラキラ輝く充実した夏休みを過ごしてほしいと思います。



＜新たな出発＞

1学期いっぱい、3名の生徒が転出することになりました。新天地でのご活躍を心より応援しています。



＜イアン先生離島のお知らせ＞

7月をもって、イアン先生が硫黄島学園での生活を終えることになりました。これまで児童生徒と共に英語を学んだり、遊んだり、一緒に楽しい時間を過ごしてきました。今まで本当にありがとうございました。今後のご活躍を心より祈っています。



インスタ
フォロー
してね！

MISHIMAKK01



みしまっこ
日記も
よろしく